

令和6年2月14日（水）に開催した令和5年度第11回公立大学法人静岡文化芸術大学役員会の結果は次のとおりである。

1 議 案

（1）非常勤講師の委嘱について

ア 趣旨

事務局から、現在の非常勤講師の就任辞退や委嘱終了の理由により、新たにそれぞれ1名（計3名）を委嘱したいとする旨、説明があった。

イ 主な意見・質問

- ・候補者の一人は本学卒業生とのことで、民間企業で活躍後、母校に戻って教鞭をとることになったのはとても良い。

ウ 審議結果

審議を踏まえ、議決された。

2 報告事項

（1）受託研究等の間接経費率の見直しについて

事務局から、外部資金確保の充実や、間接経費率の全国水準への引き上げがのぞましいことから、受託研究、共同研究及び受託事業における間接経費を契約総額の10%から直接経費の30%に変更する旨、報告があった。

（2）令和6年度一般選抜の志願状況について

事務局から、令和6年度一般選抜の志願状況について報告があった。全国的な傾向として、中堅国公立大学は志願倍率の面で苦戦している。本学では国際文化学科の志願者が3年連続で減少しており、その原因の分析及び対策が必要である。静岡大学におけるグローバル共創科学部新設の影響もあると考えられる。

（3）デザイン学部卒業展・デザイン研究科修了展の開催について

事務局から、2月19日（月）まで開催しているデザイン学部卒業展・デザイン研究科修了展について、会場案内、作品集の配布とともに説明があった。

以上